

ボランティアセンター通信

発行：社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会



季節もすっかり春めいてきました。満開の桜も楽しみですね。4月から新生活が始まる方など環境が変わる方もいらっしゃると思いますが、気持ち新たに頑張っていきましょう！ボランティアセンターもみなさんのボランティア活動をより一層サポートしていきたいと思っておりますので、新年度もどうぞよろしくお願いいたします！

さて、3月1日より令和3年度のボランティア活動保険の受付が始まっております。ボランティア活動中のいざという時の保険になっておりますので、お手続きがまだの方は新年度の活動までに更新・加入の手続きをお願い致します。

ボランティアさん活動紹介

今回は、ボランティアグループ『エンジェルハウス』さんをご紹介します！！

ボランティアグループ 『エンジェルハウス』



子育てサロン“ほっとTime”を月1回実施し、親子で遊べる空間を提供しています。

～託児支援～

鈴鹿市療育センターにて、障がいのある子ども達が安心して療育を受けられる様、兄弟の託児を実施(月～金)

鈴鹿市保健センターにて離乳食教室での託児、または育児指導時等の託児
鈴鹿市のイベント等の託児、幼稚園、保育園、個人の託児

Q. ボランティア活動を始めたきっかけについて教えてください。

ボランティア活動をはじめたきっかけは、鈴鹿市社会福祉協議会主催の「託児ボランティアスクール」を受講し、実習を修了したメンバー・支援に感心のある方で、子育てを応援しようと共感した方で、活動を開始しました。

Q. ボランティア活動において大切にしていることは何ですか？

子育てとは、各家庭環境により、不安や負担が異なります。お子様の成長によって、親や関わる人は、支援も違ってくるので、ほんのわずかな時間でも“ほっと”した時間を過ごしていただけたらと思っています。

地域の親子は“宝”です。私でよければと笑顔で見守ることを大切にしています。



ボランティア活動の様子



栗原さん(左)と北村さん(右)

いつもありがとうございます！
ごぞいます！

ご報告

【令和2年度 赤い羽根共同募金実績報告】

令和2年度 募金額 32,220,565 円

昨年10月1日から12月31日の間、令和2年度赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。本年度の運動は、コロナ禍の中一部縮小した形で実施いたしました。コロナ禍で大変な中、地域のみなさまをはじめ、たくさんの方々にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度にみなさまにご協力いただきました募金は、令和3年度に実施される三重県下の福祉活動、特に鈴鹿市内で行われる様々な福祉活動に活用させていただきます。

《赤い羽根共同募金の使いみちの一部》

○サロン活動

子育て世代の親子、障がい児・者等が集い、交流する場で、地域でのつながりをつくる貴重な機会となっています。

○鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

毎年設置・運営訓練を行い、災害時にはいち早く災害ボランティアセンターを立ち上げ、復興に向けた迅速な対応がとれるよう日頃から備えています。

○福祉教育の出前講座

体験を通し様々な立場の方のことを考え、行動することのできる「思いやりの心」を育むため、市内小中学校の児童生徒を対象として、手話講座、車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、点字体験等を行っています。

ありがとうございました



お知らせ

ボランティアグループのみなさんへお知らせ

「鈴鹿市新型コロナ対策緊急助け愛募金配分事業 感染症対策セット」の配布を希望されるボランティアグループでお申込み・受領がまだお済でない団体様が見えたら、「申込書兼受領書」をご記入の上、鈴鹿市社会福祉協議会までお越しください。ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

【問合せ先】

鈴鹿市社会福祉協議会
TEL059-382-5971

みずほ教育福祉財団「老後を豊かにするボランティア活動資金」助成金のお知らせ

- ◇助成について 地域住民・ボランティアによる主体的で活発な福祉活動が展開されていることを受けて、高齢者を主な対象として活動するボランティアグループおよび地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、用具や機器類の取得資金を助成します。
 - ◇応募対象 地域において、助成の趣旨に沿った活動を行っている比較的小規模なボランティアグループで次の要件を満たすグループ
 - ①ボランティアグループメンバーが10人～50人程度
 - ②グループ結成以来の活動実績：満2年以上（令和3年3月末時点）
 - ③本助成を過去3年以内（平成30年度以降）受けていないこと
 - ④グループの組織・運営に関する規約（会則）、活動報告書類および会計報告書類が整備されており、規則（会則）に定めるグループ名義の金融機関口座を保有していること。※法人格を有する団体およびその内部機関・老人クラブおよびその内部機関・自治会や町内会およびその内部機関は対象外となります。
 - ◇対象活動内容 ①高齢者を対象とした生活支援サービス ②高齢者による地域共生社会の実現につながる活動
③高齢者と他世代との交流を図る活動 ④レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動
 - ◇対象用具・機具 ボランティア活動において継続的に直接使用する用具・機器の購入費用に限ります。
※助成決定通知の到着前に購入された用具・機具は対象外です。
 - ◇助成金額 1グループにつき10万円を限度とします。
 - ◇応募方法 所定の申込書に必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会の推薦を受け、財団に直接郵送願います。※社協の推薦手続は時間を要する場合がございますので、十分な余裕をもってお手続きください。
 - ◆締め切り 5月21日（金）必着
- ☆募集要綱・申請用紙はみずほ教育福祉財団のホームページからダウンロードできます。鈴鹿市社会福祉協議会でもお渡しいたします。



【お問合せ先】みずほ教育福祉財団 福祉事業部
TEL:03-3596-4532 FAX:03-3596-3574
E-mail:FJP36105@nifty.com

「令和3年度三重ボランティア基金助成募集」のお知らせ

【ボランティア団体基盤強化助成】

福祉活動を目的としたボランティア団体の基盤強化を図るための器材・器具の助成です。

（注：申請する器材が、団体の基盤強化とならない場合は対象外となります）

◇対象 各市町社会福祉協議会にボランティア登録されている団体

◇助成金 1団体20万円以内

【ボランティア活動資金助成】

福祉活動を目的としたボランティア活動であり、先駆的、モデル的な活動（福祉のまちづくり）を対象とした助成です。

（注：備品購入は対象外となります）

◇対象 各市町社会福祉協議会にボランティア登録されている団体

◇助成金 1団体50万円以内で、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに完了する事業

◆応募方法 鈴鹿市社会福祉協議会から申込書を取り寄せ、「助成金交付申請書」を提出してください。

（三重ボランティア基金ホームページより申請書をダウンロードすることも可能です。）

※応募は1団体1事業となります。

◆応募締切 令和3年4月16日（金）必着

※社協推薦を記入する必要がある場合がございますので、申請される方は鈴鹿市社協へ令和3年4月9日（金）までに提出をお願いします。

◆提出先（担当：坂）TEL:059-382-5971 / FAX:059-382-7330

[公益財団法人 三重ボランティア基金](#)



ボランティアに関する最新の情報や、ボランティアグループの活動紹介

ボランティアセンター事業の紹介等を随時更新しています。

鈴鹿市ボランティアセンターホームページ
www.suzuka-shakyo.or.jp/volunteer

鈴鹿市ボランティアセンター 検索



コミュニケーションアプリ「LINE」にて、鈴鹿市ボランティアセンターの公式LINE@アカウントを開設しました！

ボランティアさんのお手伝いが
必要な団体さんはぜひご一報ください。
ボランティア通信に掲載させていただきます。
（※掲載枠には数に限りがございますのでご了承ください。）

また、ボランティアさん活動紹介
コーナーに掲載させていただける
ボランティアさんもぜひご一報ください！

◇ボランティア活動、ボランティア通信へのお問合せ、申し込みは…

〒513-0801

鈴鹿市神戸地子町383-1 TEL(059)382-5971 / FAX(059)382-7330

E-mail : s.syakyo@suzuka-shakyo.or.jp 担当：坂・土岐

* お問合わせは月曜日～金曜日<8:30～17:15>にお願いします。

